

モノづくり

情報交換会

栃木産業人クラブ



栃木県産業労働観光部
次長兼産業政策課長
山口 敏之氏



栃木県
産業労働観光部長
小林 一巳氏



栃木産業人クラブ会長
(大高商事社長)
高橋 和夫氏

高橋 日本の経済は回復基調にあるとはいえず、地方経済、とりわけ中小企業にとっては、いまだ実感として伝わってきません。早く实体经济と結

産業振興の方向性

について、栃木県が活性化し、元気が出てくるよう待ち望まれています。しかし、待っているだけではだめで、前に進むために、産学官が情報・意見を交換し合いながら行動することが大切なのだと思います。

小林 県内経済は明るい兆しが見え始めており、緩やかに持ち直しつつあると認識しています。一部企業からは明るい話も出ていますが、全体的にはまだこれからです。雇用情勢は、県内の有効求人倍率が全国平均を下回っているという厳しい状況にあります。

山口 栃木県は県内総生産の製造業比率が33%。全国でも3番目に高いモノづくり県です。とちぎ産業振興プログラムに基づき、自動車、航空宇宙、医療機器、光環

国の成長戦略に呼応 重点5分野で振興策 認証制度で競争力を 企業の経営改善支援

富田氏 中里氏 山口氏 小林氏



栃木県産業労働観光部
経営支援課長
富田 哲夫氏



栃木県産業労働観光部
工業振興課長
中里 文計氏

とで、バランスのとれた産業構造の確立を目指しています。企業誘致関係では、昨年度までの5年間、公表されたもので1300件・7000人分の新規・拡充があった一方、撤退・縮小も26件・5200人ありました。成長性に富む企業の立地・定着を図るため、栃木県企業誘致・県産品・とちぎのいいもの、販路推進本部を活用しながら、戦略的に進めていきます。

中里 「フロンティア企業」は卓越した技術や市場シェアの高い製品を有する企業を研究開発の助成事業や制度融資の対象とすることによって競争力強化を支援する認証制度で、現在2255社が認証を受けています。認証期限が来年度5月

末なので、これから再認証の手続きが始まっています。ものづくり技術強化補助金は今年度から経済変動対応特別枠を設けるなど、柔軟に対応して、積極的に活用してほしいと思います。産業振興プロジェクトでは光産業と環境産業の事務局を担当し、フードパレイでは新商品・新技術開発の支援を行っています。ゆうが、唐辛子、イチゴの新品種「スカイベリー」など、県産品を用いた商品開発で成果が生まれており、県産品の米・水・酵母で作った日本酒造りも着々と進んでいます。

富田 金融口消化法終了対策として、融資枠拡充や期間延長など、制度融資を改正しました。また、10月には補正予算で

分析装置が導入され来年2月から供開始予定です。広域連携によって、中小企業の海外展開支援サービスが一段と充実します。と比べて仕事が増えたと

だきたいと思っています。伊藤 振興センターの商談会で発注企業の参加が増加し、また、半年ごとのアンケートで、半年前

という回答が34%に増加するなど、着実に仕事が増えはじめています。海外ビジネス支援関係では、昨年スタートの外国出展支援事業は今年度、特許が6件、商標が2件で、徐々に浸透してきたように思います。今年度から始めた海外ビジネスセミナーはすでに進出して、県内企業の代表者を講師に招き、受講者からは生の声が聞けると好評を得ています。昨年度補正予算に基づき、創業補助金事業については、県内企業の採択件数は第2回までの分で46件でした。第3回の募集は12月24日までです。県内4会場で個別プランについての相談に応じています。とちぎのいいもの、販路推進本部を活用してほしい。

とちぎのいいもの、販路推進本部を活用してほしい。

メッセージ



栃木県知事

福田 富一氏

本県におきましては、東日本大震災からの復興を仕上げる段階へと進めるため、県産農産物の安全・安心の確保や戦略的な観光誘客対策などに取り組んで参りました。県民の皆様

の復興政策等により企業収益の改善が進み、景気は回復しつつあります。さらに、政府は、デフレからの早期脱却と経済再生

の復興政策等により企業収益の改善が進み、景気は回復しつつあります。さらに、政府は、デフレからの早期脱却と経済再生

の復興政策等により企業収益の改善が進み、景気は回復しつつあります。さらに、政府は、デフレからの早期脱却と経済再生

積極的に企業誘致を展開

創設し資金繰りの支援強化を図るとともに、「ものづくり技術強化補助金」を拡充し技術革新・新技術開発等により販路開拓等を行うとする企業の支援を行うなど、経済環境の変化に対応する施策にも積極的に取り組んでいます。

また、「金融口消化特別相談窓口」を設置し、経営改善に取り組む中小企業に対し計画策定支援を行うほか、県制度融資にPRしながら、積極的に企業誘致活動を展開して参ります。

皆様におかれましては、未来を拓く大きな可能性を持つ栃木県への立地、事業拡大について御検討いただければ幸いです。今後とも引き続き、「元気度日本1」の「とちぎの産業」を目指して全力で各種施策に取り組んで参りますので、皆様の御理解と御協力を心からお願いいたします。

First for You

あなたの一番に



栃木銀行

投資育成成社は、2013年11月に創立50周年を迎えました。

変化するニーズにお応えします

弊社は、中小企業投資育成会社法に基づいて設立された、中小・中堅企業を長期安定株主として支援する政策実施機関です。公的機関の投資ですから安心と信頼があります

SBIC 東京中小企業投資育成株式会社
Tokyo Small and Medium Business Investment & Consultation Co., Ltd.

お問い合わせ先 TEL: 03-5469-5850 Mail: toshi@sbic.co.jp
URL: http://sbic.co.jp 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-29-22

花から野菜・果物まで鮮度長持ち!

保鮮システム 快蔵くん

特許技術により農産物の計画的な生産管理・流通に大きな威力を発揮します

株式会社 大高商事
栃木県宇都宮市宝木本町1474番地5 URL: http://www.daikoh.net
TEL: 028-665-1911代 FAX: 028-665-1919

「再生可能エネルギー発電事業」に関する資金ニーズにお応えします

太陽光発電 支援融資

一部、ご相談窓口のない店舗がございます。ご融資に際しては審査がおり、ご希望に添えない場合がございます。○別途事務取扱手数料がかかります

足利銀行 詳しくは、お近くの「あしぎん」窓口へ
www.ashikagabank.co.jp

活きる人材を育てる場。

帝京大学宇都宮キャンパスは、実社会で活かせる技術を身につけた人材、そして地域社会の活性化に貢献できる人材の育成に取り組んでいます。

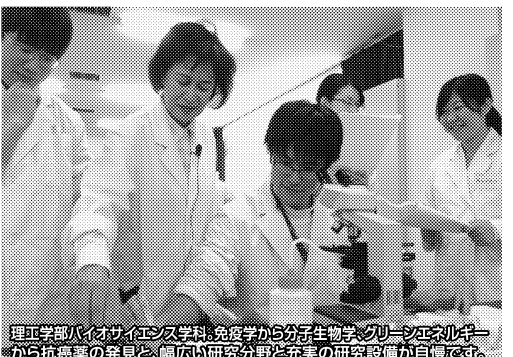
帝京大学 宇都宮キャンパス

- 経済学部 地域経済学科
- 理工学部 機械・精密システム工学科・航空宇宙工学科・ヒューマン情報システム学科・バイオサイエンス学科・情報科学科通信教育課程
- 医療技術学部 薬道整復学科
- 大学院 理工学研究科総合理工学専攻 博士課程(前期/後期)・理工学研究科(通信教育課程)情報科学専攻 修士課程・医療技術学研究科薬道整復学専攻 修士課程

〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台1-1 TEL: 028-627-7111(代) http://www.teikyuo-u.ac.jp



学生たちが製作した小型衛星「TeikyuoSat-3」が、JAXAの地球観測衛星に相乗りし、2014年10月に打上げ予定です。



理工学部バイオサイエンス学科、医療学から分子生物学・ゲノム学から生命現象の解明に貢献する研究を推進しています。



産学連携は

地域共生研究開発センターまで お気軽にご相談ください。

地域に学び、地域に返す 地域と大学との支え合い

宇都宮大学 地域共生研究開発センター

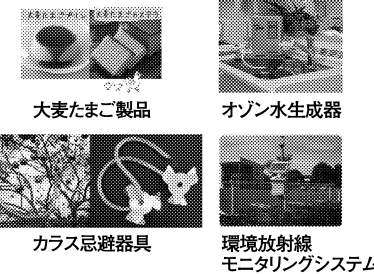
〒321-8585 栃木県宇都宮市陽東7-1-2 TEL: 028-689-6316 FAX: 028-689-6320 E-mail: chiiki@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

企業の皆様へ

25名の産官学連携コーディネーターと18名の客員教授(各分野の専門家、弁護士、弁理士)が、お手伝いします。

- 技術相談 共同研究 企業交流会 依頼分析
- 特許相談 技術移転 外部資金獲得 など

共同開発事例



大妻たまご製品 オゾン水生成器

ガラス忌避器具 環境放射線モニタリングシステム

地域貢献度ランキング

3年連続 2位!
各大学が点数をアップさせる中で、常に高い評価を受けています。

2006年度からの8年間で
トップ10を7回
トップ3を5回
(出典 日経クロアール)

企業交流会

企業訪問・技術相談